

第 25 回俳句甲子園全国大会レポート～その 1～

2022.08.19

こんにちは。KS プロジェクト「俳句甲子園への道」です。

俳都松山の夏の風物詩「俳句甲子園」。3年ぶりに出場校すべてが松山に集い、試合を行うことができます。海城からはA(高3・5名、高1・2名)・B(高2・6名)の2チームが出場します。

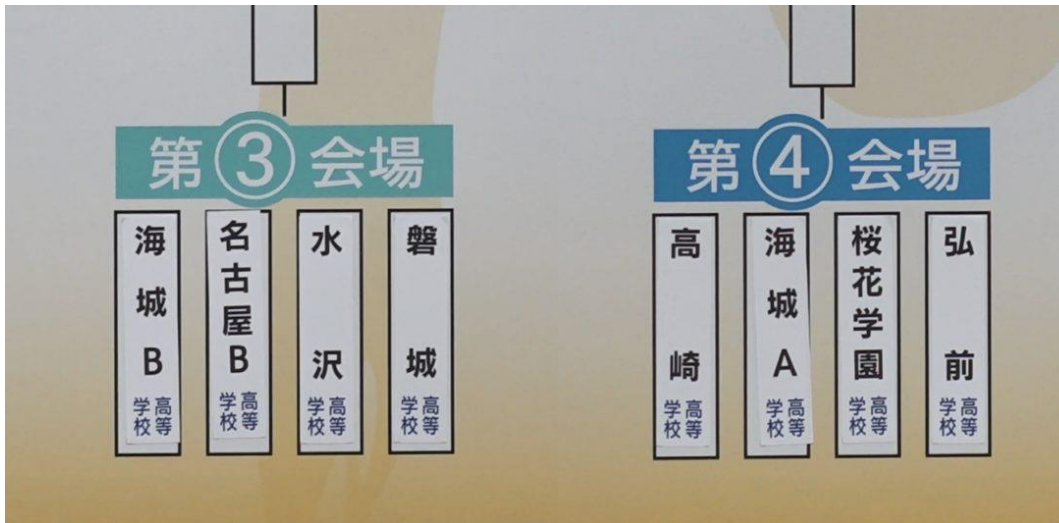
本日昼過ぎに松山入り。夕刻より、抽選会。敗者復活戦用の句のエントリー。

明日は開会式の後、待ちに待った大街道商店街特設会場での予選となります。2チームとも、実力を遺憾なく発揮し、ぜひ予選突破を果たしてください!

俳句のひとたちの活躍、ご期待くださいませ。



羽田空港出発直前です。いざ出陣!



抽選会の様子。対戦相手決定しました！

第 25 回俳句甲子園全国大会レポート～その 2～

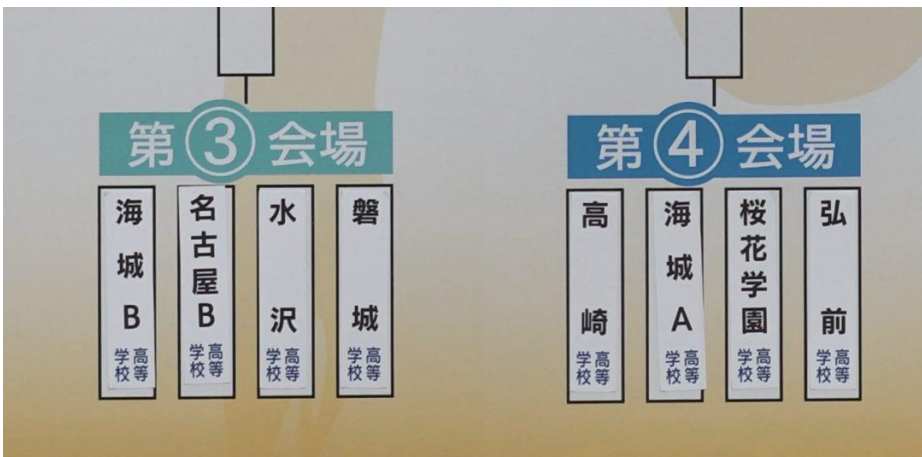
2022.08.20

こんにちは。KS プロジェクト「俳句甲子園への道」です。

8月20日(土)、今日は開会式、そして予選リーグの日になります。場所は松山市最大の繁華街である大街道アーケード商店街。屋根はあるとはいえ、屋外での試合は暑さとの戦いでもあります。開会式です。



予選リーグは、4校による総当たり戦。勝ち抜けば、お隣りのブロックの勝者と決勝リーグ進出をかけた戦いに進めます。海城はこれまで5回の全国大会出場がありますが、未だブロック突破は果たしていないため、まずはそこを目標に一日はスタートしました。ここで昨日の抽選結果のおさらいを。



そう、AとBは隣り合わせのブロック。勝ち抜けば、決勝リーグ進出を賭けて、両者は激突することになるのです。

A チームは、青森代表・弘前高校、群馬代表・高崎高校、愛知代表・桜花学園とのブロックに。昨年度全国ベスト4のメンバーが残るAチームは実力を遺憾なく発揮し、磐石の試合運びで見事ブロック突破を果たしました。



B チームは、岩手代表・水沢高校、福島代表・磐城高校、愛知代表・名古屋高校 B とのブロックに。高2、6名で構成される若いチームは試合ごとに力をつけ、A チームに続き、ブロック突破を果たしました。





お互い手の内を知り尽くした相手との同門対決。対戦は決勝の舞台で、と話していただけに少し早い対戦にお互い戸惑いの色は隠せません。それでも試合が始まればいつもの真剣勝負。白熱した好勝負となりました。結果は、Aチームの勝利。Aチームが明日の決勝リーグ進出の切符を手に入れました。審査員の高田正子先生から最後に「とっても楽しくて、これで決定してしまうのがもったいない、次も見たいよな」のお言葉を頂戴しました。感無量です。



明日はいよいよ決勝リーグが松山市総合コミュニティセンターで開催されます。決勝リーグ進出校は全部で6校。うち4校は本日の予選リーグで決定しています。残り2校は明日決勝リーグに先駆けて行われる敗者復活戦で決定します。そう、実はBチームにも、決勝リーグ進出の可能性は残されているのです。海城のダブル進出はあるのか。敗者復活戦は決勝リーグの前に行われます。それでは明日またお会いします。

第④会場 対戦結果表		
赤	第1試合 七月	白
高崎高校	× 1-2 ○	海城高校 A
桜花学園高校	× 1-2 ○	弘前高校
高崎高校	○ 2-1 ×	桜花学園高校
海城高校 A	○ 2-1 ×	弘前高校
海城高校 A	○ 2-1 ×	桜花学園高校
弘前高校	○ 3-0 ×	高崎高校

第③会場 対戦結果表		
赤	第1試合 七月	白
海城高校 B	○ 2-1 ×	名古屋高校 B
水沢高校	○ 2-1 ×	磐城高校
海城高校 B	○ 2-1 ×	水沢高校
名古屋高校 B	× 0-3 ○	磐城高校
名古屋高校 B	× 1-2 ○	水沢高校
磐城高校	× 0-3 ○	海城高校 B

第 25 回俳句甲子園全国大会レポート～その 3～

2022.08.21

本日 8 月 21 日(日)は、待ちに待った決勝リーグ・決勝戦の日。俳句甲子園の聖地、松山市コミュニケーションセンターが決戦の地となります。

抽選の結果、海城 A チームは、B ブロックに。山形代表・山形東高校とひとまず同ブロックに。



決勝リーグに先立ち行われたのは、敗者復活戦。敗者復活戦は、初日の抽選会後に
投句した句を審査員の先生方があらかじめ審査し、まず選ばれた 9 校 9 句が発表さ
れました。ちなみに敗者復活戦の兼題は「麦茶」。みんなで固唾を飲み、発表を見
守ります。海城 B の名前がありました！ すぐさま選ばれし 9 校は、そのまま審査
員の先生方との質疑応答に入ります。句の作品点と自身の句に対する理解の深さを
点数化し、上位 2 校が敗者復活となります。最後のチャンスを生かそうと壇上で懸
命に句の魅力を語ります。



審査の結果、見事復活を遂げたのは、愛知代表・名古屋高校 B、愛媛代表・今治西高校の 2 校。海城 B の今大会はここで幕を閉じることとなりました。B チームメンバーはオール高 2。今大会で得た経験値を必ずや今後活かしてくれるはず。ここまで素晴らしい戦いを見せてくれて本当にありがとう。

名古屋高校が A チームのブロックに入ることに。A チームは決勝進出を賭け、名古屋高校 B と山形東高校と対戦します。

本日はお伝えしたいことが盛りだくさん。いくつかに分けて、お伝えするつもりです。それでは後ほど。

第 25 回俳句甲子園全国大会レポート～その 4～

2022.08.21

決勝リーグ、決勝戦の様子をレポートいたします。

A チームの初戦は、敗者復活戦を勝ち上がり意気上がる名古屋高校 B。「龍淵に潜む」という季語に誠実に向き合った成果が感じられる句を評価していただき、4 対 1 で幸先よく初戦を取りました。

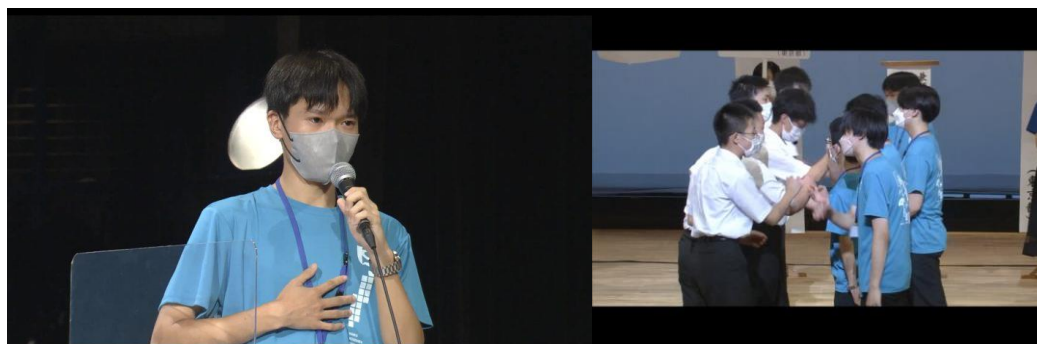


次戦は山形東高校戦。勝てば決勝進出となる重要な一戦。兼題は「秋刀魚」。幸先よく2本を先取し王手をかけるも一本かえされる痺れる展開。緊迫した試合は結局3対2で見事勝利。海城Aチームはついに決勝進出を決めました！



決勝の相手は東京代表・開成高校。昨年度の優勝校です。この間何度も対戦し、その度に成長のきっかけをいただいた、私たちにとって特別な存在となります。決勝という最高の舞台で戦える、その喜びを感じつつの試合となりました。先鋒戦から

大将戦までそのほとんどが僅差の実力拮抗の好勝負となりました。1対4、優勝は開成、海城Aは準優勝です。悔しい。悔しいけれど、持てる力を出し尽くしました。生徒たちは皆最高でした。



第25回俳句甲子園全国大会レポート～その5～

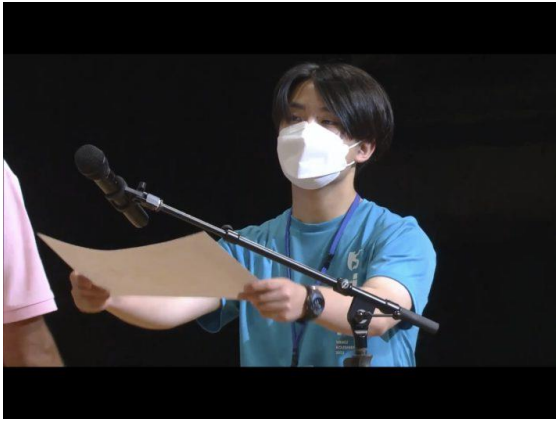
2022.08.21

表彰式の模様をレポートいたします。

表彰はまずは団体表彰から。

優勝は開成高校。これで開成は3連覇となりました。

海城も誇るべき準優勝です。副賞の数々も良い思い出となるでしょう。



敗者復活戦出場を評価され、B チームも奨励賞をいただきました。



引き続き個人表彰へ。最初に入選句 20 句の発表。

海城からは 2 名が選出されました。

尾崎貫太

昼の蚊や花瓶の水を入れ替へて

蔣騰

四十雀息を継ぐ間のわずかなる



続いて、審査員の先生方 13 名のセレクションによる優秀句 13 句の発表。

1 名が選出されました。

-岸本尚毅選-

南幸佑

龍淵に潜む眼鏡に小さき螺子





それぞれ選んでいただきました。3年ぶりの対面による全国大会は、私たちにとって、充実したものとなりました。大会に関わるすべての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

